

有限会社 アコナ

2023年度環境経営レポート
(第8版)

運用期間:2023年6月～2024年5月)

作成年月日:2024年8月10日

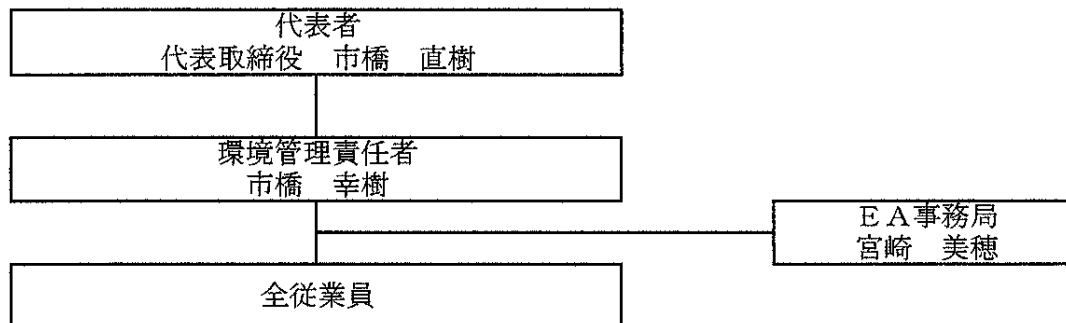
目 次

1	登録事業所の概要	1
2	環境負荷の実績	1
3	環境経営方針	2
4	環境経営目標	3
5	環境経営計画及びその実績	3
6	環境経営計画の取り組み結果とその評価	4
7	次年度の取組	5
8	環境関連法規制等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに、違反、訴訟等の有無	5
9	代表者による評価と見直し・指示	5
10	廃棄物処理業の情報公開項目	6

1. 登録事業所の概要

- (1) 事業所名及び代表者名
有限会社 アコナ (法人設立年月日：平成4年6月15日)
代表取締役 市橋 直樹
- (2) 所在地
〒400-0426 山梨県南アルプス市塚原4-1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 環境管理責任者 市橋 幸樹
担当者 宮崎 美穂
TEL：055-282-6262
FAX：055-283-4221
E-mail：acona@bz01.plala.or.jp
- (4) 事業内容（認証・登録の範囲）
産業廃棄物の収集運搬及び中間処理
- (5) 事業の規模
資本金 2,500 万円
売上高 売上高区分A（5億円未満）

従業員 5名
延べ床面積 4,256.02 m²
- (6) 事業年度 6月～5月
- (7) 環境経営システム組織図



2. 環境負荷の実績

項 目	単 位	2021年度（基準年度）
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	112,653.00
一般廃棄物排出量	kg/年	220.00
水道使用量	m ³ /年	101.00

環 境 経 営 方 針

〈当社の環境理念〉

有限会社アコナは、地球環境問題を自らの課題とし、人と地球にやさしい活動の実践により社会貢献に努め、地球社会とともに歩む事業所として地域住民から信頼される企業を目指します。

〈基本方針〉

当社は、廃棄物の適正処理と環境保全活動を第一として、以下に定める方針に従って行動します。

1. 事業活動における環境負荷の削減に努めます。
 - 1) 二酸化炭素排出量の削減
 - 2) 一般廃棄物排出量の削減
 - 3) 水使用量の削減
 - 4) リサイクル率の向上
2. 環境保全の継続的な向上のため、環境目標を定め、全員でその実現に努めます。
また、定期的な見直しにより、環境経営システムを継続的に改善します。
3. 全社員への環境教育を徹底し、環境への意識の向上に努めます。
4. 環境事故の発生の防止及び汚染の予防に努めるとともに、環境経営の継続的な改善を図ります。
5. 環境関連法規制を順守します。

この環境方針は社内に掲示し、社員及び当社に関連する要員に周知します。
また、社外にも積極的に公表します。

2017年4月 1日制定

2018年6月10日改正

2021年6月10日改正

2024年8月10日改正

有限会社 アコナ

代表取締役 市橋 直樹

4. 環境経営目標

項 目		2021年	2023年	2024年	2025年
		基準年度	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	26,146.00	25,623.08 98%	25,361.62 97%	25,100.16 96%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	4,977.00	4,877.46 98%	4,827.69 97%	4,777.92 96%
灯油の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	81,530.00	79,899.40 98%	79,084.10 97%	78,268.80 96%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	112,653.00	110,399.94	109,273.41	108,146.88
一般廃棄物排出量の現状維持	(kg/年)	220.00	220.00 100%	220.00 100%	220.00 100%
水使用量の削減	(m ³ /年)	101.00	98.98 98%	97.97 97%	96.96 96%
サービスに関する項目	(%)	41.1%	41.1%以上	41.1%以上	41.1%以上
地域活動		実施	実施	実施	実施

5. 環境経営活動及びその実績

項 目		2021年	2023年		評価
		基準年度	(目標)	(実績)	
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	26,146.00	25,623.08	28,779.00	×
自動車燃料の二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	4,977.00	4,877.46	45,093.00	×
灯油の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	81,530.00	79,899.40	23,097.00	○
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	112,653.00	110,399.94	96,969.00	○
一般廃棄物排出量の現状維持	kg	220.00	220.00	140.00	○
水使用量の削減	m ³	101.00	99.99	78.00	○
サービスに関する項目	%	41.1%以上	41.1%以上	54.5	○
地域活動		実施	実施	実施	○

(注1) 二酸化炭素排出量を把握する際に用いた、購入電力の排出係数は0.462kg-CO₂/kWh(購入先:東京電力エナジーパートナー R2.1.7環境省・経済産業省公表)としました。

6. 環境経営活動の取り組み結果とその評価

6月～5月までの目標とその実績について、その評価を行った。

取り組み計画	達成状況		単位 基準年度比	評価（結果と今後の方向）
電力の二酸化炭素排出量削減 ・冷暖房の控えめな使用 （冷房28℃ 暖房20℃） ・クールビズ・ウォームビズ運動 ・行程ロス削減による稼働時間の短縮	基準年度	26,146.00	k g-CO ₂	目標未達成
	目標	25,623.08	99%	こまめなON、OFFや冷暖房温度の適正化等を実施したが環境経営目標は達成できなかった。 今後は、蛍光灯やパソコン、印刷機などについては省エネタイプのものを随時導入するとともに、更なる二酸化炭素排出量の削減に取り組むこととする。
	実績	28,779.00	112%	
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減 エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・急発進・急加速の抑制	基準年度	4,977.00	k g-CO ₂	目標未達成
	目標	4,877.46	99%	軽油使用量が大幅に増えたことにより、環境保全目標は達成できなかった。 軽油使用量の削減について再検討する必要がある。
	実績	45,093.00	925%	
灯油の二酸化炭素排出量削減 灯油の使用方法の確認	基準年度	81,530.00	k g-CO ₂	目標達成
	目標	79,899.40	99%	灯油使用量の削減などに積極的に取り組んだ結果、環境保全目標を達成した。
	実績	23,097.00	29%	
一般廃棄物排出量の現状維持 ・分別ボックスの設置 ・裏紙使用 ・古紙のリサイクル化	基準年度	220.00	kg	目標達成
	目標	220.00	100%	リサイクル活動及び分別活動を進めたことにより環境保全目標を達成した。
	実績	140.00	64%	
水使用量の削減 ・手洗い水量の適正化 ・洗車水の適正使用	基準年度	101.00	m ³	目標達成
	目標	99.99	99%	廃棄物の収集運搬車両の洗車に配慮したことにより環境保全目標を達成できた。
	実績	78.00	78%	
サービスに関する項目 （再資源化率）	基準年度	41.1	%	目標達成
	目標	41.1	100.0%	再資源化率が向上した。
	実績	54.5	133%	
地域活動	基準年度	実施		目標達成
	目標	実施		今後も取り組むこととする。
	実績	実施		

7. 次年度の取組

次年度も本年度と同様以下の内容について取り組むこととする。

- ①二酸化炭素排出量の削減
- ②一般廃棄物排出量の現状維持
- ③水使用量の削減
- ④サービスに関する項目（再資源化率の向上）
- ⑤地域活動

8. 環境関連法規制等の順守状況の確認及び評価の結果並びに、 違反、訴訟等の有無

当社が対象となる環境関連法規は廃棄物処理法、騒音規制法及び振動規制法、悪臭防止法等に関する法律です。

これらの法令についての順守状況を2024年6月5日に確認したところ、適法に運用されているとの結果を得ました。

また、本社に係る違反、訴訟等はありませんでした

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

9. 代表者による評価と見直し・指示

2023年6月～2024年5月まで実施してきた環境保全目標や環境活動計画についての進捗状況の報告を受け次の事項を指示しました。

- 1. 環境経営計画の基準年度を2023年度とすること。
- 2. 環境活動を更に実践し、地域に貢献すること。

10. 廃棄物処理業の情報公開項目

1. 許可の内容

許可項目	許可区域	許可番号等	許可年月日	許可の有効期限	備考
産業廃棄物収集運搬業	山梨県	第01901061970号	令和6年6月9日	令和11年6月8日	
産業廃棄物中間処理業	山梨県	第01921061970号	令和6年6月9日	令和11年6月8日	

2. 事業の範囲

許可項目	廃棄物の種類	
産業廃棄物収集運搬業	廃プラスチック類（※）、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（※）（※印のあるものは、石綿含有廃棄物を除く。）	
産業廃棄物中間処理業	破砕施設	金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

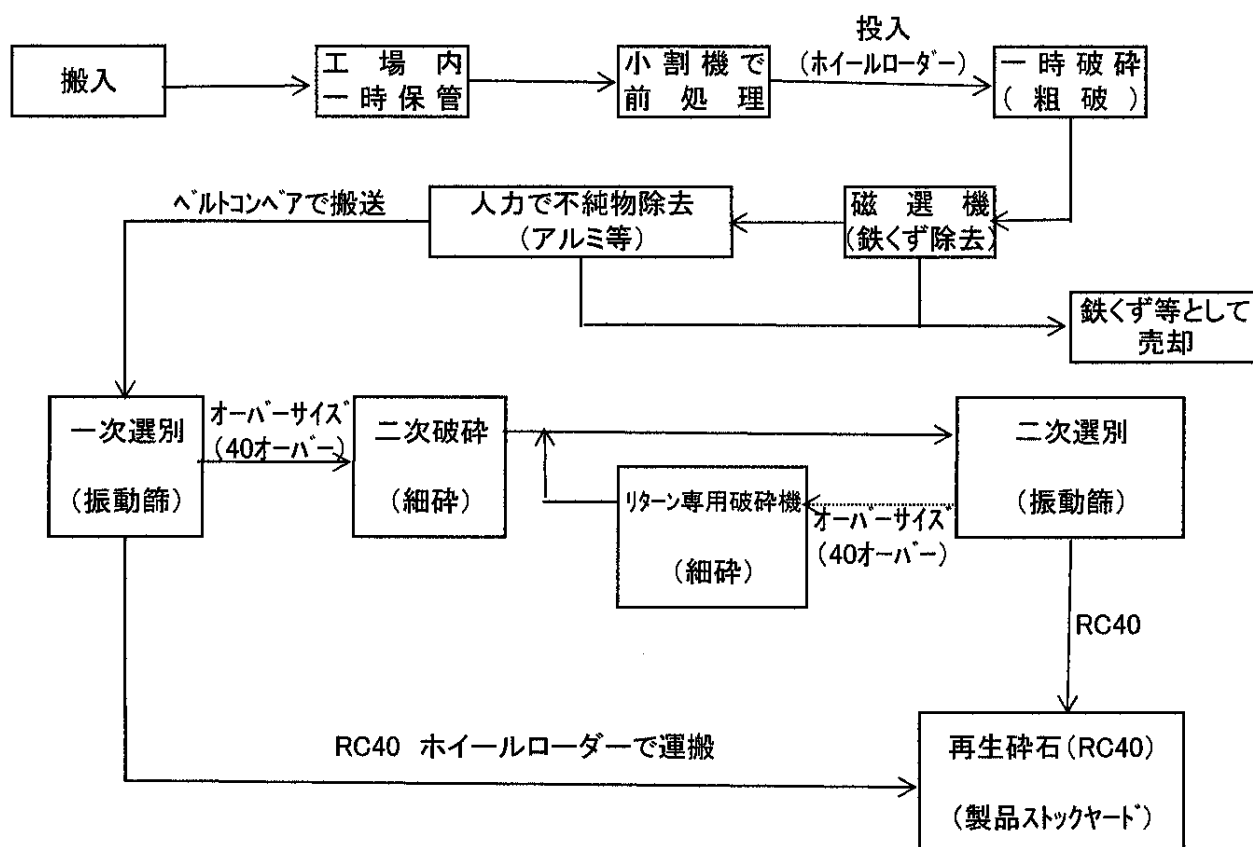
3. 運搬車両

運搬車両の種類	積載量	台数
軽ダンプ	0.35t	1台
エルフ	2.00t	1台

4. 処理実績（2023年6月～2024年5月）

項目	廃棄物の種類	処理量（t）
産業廃棄物収集運搬	廃プラ、木くず、ゴムくず、がれき類など	3,307.93
産業廃棄物中間処理	がれき類	51,682.39

5. 中間処理施設の破碎・選別のフローチャート



6. 中間処理の破碎施設の処理能力

390.4t／日

7. 廃棄物処理料金

廃棄物の収集運搬等の料金は、お客様(排出事業者様)とのご契約時にお見積書をご提出し、協議の
決めさせて頂いております。

なお、廃棄物の品目、性状、排出場所、排出量、荷姿等をご連絡頂ければお見積をさせて頂きます。

(連絡先:055-282-6262)